

7月16日 学年行事 花盛り!

1年生 規範教育と授業参観

1年生は5時間目1年1組、6時間目1年2組の生徒がミーティングルームで、「メディアとのよりよいつき合い方」についてお話をいただきました。講師として南筑後教育事務所から境先生を迎え、今後のSociety5.0（超スマート社会）を迎え、考えて行動する大切さを話されました。スマホの使用時間と学力との関係やどのようにしてトラブルが起きるのか、またインターネットを利用するさいの注意すること。中学生は人生の中でも一番成長するとき、時間の使い方、ご家庭での「きまり」の大切さについて、生徒や参観いただいた保護者の皆様にも考えていただけたのではないかと思います。技術の進歩は、これまで以上に進んできます。そのような中、最先端の機器が出てきた際に、禁止という選択ではなく、効果的に成長のために活用する選択ができるように、是非「考えて行動する」ことを実行していきましょう。



規範意識教室に並行して、授業参観もありました。5限目、1年2組は音楽でした。25名を超える保護者を迎え、生徒たちも緊張した姿を見せていました。6時間目、1年1組は理科、3つの白い粉を、①水に溶かす、②ガスバーバーで熱する方法で、根拠をもって分類する実験でした。マッチは2本だけ、真剣な顔でマッチをすり、ガスバーバーに点火していました。こちらも20名を超える保護者でいっぱいでした。

3年ふるさと学 GTの話



2年生 授業参観



2年生は6限目に授業参観。何と1組も2組も数学でした。生徒の皆さんは、いつもと変わらぬ真剣な眼差しで授業に臨んでいます。2年生の数学は、今回のテストでは連立方程式が出題されていました。生徒の皆さん、ここはとても大切な所です。しっかり食らいついてくださいね!!参観して

いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

3年生 進路学習=ふるさと学習

3年生では今年、ふるさと「黒木」について学ぼう!とふるさと学に取り組んでいます。「あなたは黒木が好きですか?」「あなたは黒木に住みたいですか?」というアンケートを皮切りに、黒木について多方面から迫っています。今回は、黒木に関係する3名の方をGT(ゲストティチャー)としてお迎えし、黒木に対する思いを語ってもらいました。来ていただいたのは次の方々です。

① 添田 農(そえだ しん)氏

家具職人 西岡泰心氏に師事し、笠原で天然木を使った家具を製作中。笠原は創作意欲や作品の構想をかき立てる場所。釘やビス等を使わないですべてハンドメイド。欲しいな〜。と思うような素敵な家具を作っています。作品を持参していただきましたが、すごいんです。興味ある方は【YOAKE】家具 で検索を!

② 吉田 周平(よしだ しゅうへい)氏

八女茶物語 代表取締役 自ら八女茶の製造販売の会社を経営。小さいときから八女茶に携わり、学生時代や就職などで故郷を離れていましたが、帰郷しお茶屋さん、茶業界の現状や黒木の良さについて語ってもらいました。今回、大藤祭りが中止になったこと。そのことをSNSで発信したら思いもかけないことがおきたことなど。興味ある話が満載でした。(素敵な奥様もおいでになりました)

③ 堤 千春(つづみ ちはる)氏

本校卒業生で、現在アナウンサーとして活躍中。月~木の朝6時過ぎのニュース番組に出演(RKB)。この他ラジオのパーソナリティーもされているとのこと。中学時代の話やふるさとへの思い(中学時代は黒木のことは...)いまでも、10人あまりの中学時代の友人と連絡を取り合っており、特別な存在だそうです。実は〇〇先生の娘さんなのです。アクセントが苦手なこの地域の者でも、努力次第ではアナウンサーになれるんです!未来に光明!!



※ 3年生 7月1日 高校説明会 9校の

延期になっていた高校説明会を体育館アリーナで開催しました。9校の中の3校は本校卒業生がゲスト出演。成長した姿を披露してくれました。とても進路選択の参考になりました。



こっき 黒木中だより 第5号 克己

令和 2年 7月20日

八女市立黒木中学校
八女市黒木町北木屋60
☎ 0943-42-0109
校長 河口 昭彦

なつほんばん ねっちゅうしょう けんこうかんり つとめましよう
夏本番、コロナに熱中症、対策をしっかりと健康管理に努めましょう!!

7月15日頃は、博多や戸畑などなど県内や全国各地で祇園祭の音が聞こえてくる時期です。このお祭りは、疫病退散(えきびょうたいさん)つまり夏に起こりがちな伝染病から人々の健康を守るために行われる祭りで、黒木町でもかつては15日に、今では、大藤で有名なササノウ神社で20・21日に行われてきました。生徒の皆さんは、22日の花火大会の方を知っている人も多いでしょう。しかし、今年、コロナ対策のために、残念ながら黒木町の祇園祭も、各地の同じような祭りも中止の知らせが届いています。

さて、7月15,16日,1ヶ月遅れで、前期の中間考査がありました。1年生にとっては初めての定期考査、範囲も広く、部活動まで中止しての実施。その意味が理解できているかな?定期考査は、どこが理解できていないかをテスト勉強を通じて見つけ、学び直すチャンスです。テストを受けると間違いが見つかります。その間違いを復習することで新たな学びにつなげるのです。テストが返ってきたら答え合わせだけでなく、なぜ間違ったのが、わかるまでやり直しをしてください。

☆ 分析テストの結果 ☆

例年、4月当初に、前年度までに学習した内容をどれくらい理解しているかを見る「分析テスト」を行ってきました。今年、一斉休校が解けた6月に漸く、実施することができました。2ヶ月遅れです。生徒の皆さんの昨年度の2月までの学習の成果とこの3ヶ月の自宅学習の頑張りを見るチャンスとなりました。

学年	本校	県平均	分析
1学年	230.7 (400点中)	219.7	11ポイントのプラス
2学年	276.1 (500点中)	266.9	9.2ポイントのプラス
3学年	282.6 (500点中)	255.0	27.6ポイントのプラス

以上のように、各学年とも県平均を上回っています。これを見ますと、休業中によく学習に取り組んできたと思います。ただ、個人的に、もっとできたのでは?と反省した人もいたようです。それでは、ここで、学力を向上する秘訣(ひけつ)をお伝えしましょう。まずは、「学ぶ」という言葉の意味です。これは「真似る=まねる」から発生しています。つまり、良いことを素直に真似ること、素直にですよ。それと、学習は見るだけでは、身につけません。プロ野球中継を観るだけでは、野球が上達しないのと一緒。自分で真似て練習しなければ上手くなりませんよね。自学ノートや問題を解くなどして、毎日学習に取り組んでいると思いますが、学習したところは「声を出して読む」「必ず確認の問題を解いてみる」「わからないところはわからない」と言って(確認して)人に教えてもらう……。な〜んだ!当たり前のことじゃないか、と思っている人。真剣にやれているか、素直に振り返ってみましょう。